

仏様のおはなし新シリーズ第48集その1 「いのちは誰のもの」

「いのち」は誰のもの と思いますか？

親が勝手に生んだんだから・・・私も勝手にしてもいいと思います？

私のいのちの出生は何処からなののでしょうか？

父、母、祖父母、曾祖父母、その前は・・・。

そう考えていくと、ビックリする事に10代前には1024人の先祖がおられます。

25代前には3,355,443,216人もの 「いのち」 につながって 今、私は存在しています。

この長い 長い「いのち」のいとなみのなかで・・・

関わりあった 尊い縁によって 生かされています。 1つでも関わりあう縁が 違っていたら、私は 今、存在していないのです。大切な、大切な縁、尊いいのちです。

又 私は 沢山のいのちによって 生かされてきました。いのちを奪う、殺生の罪なしには 生きられない私なのです。

仏教では全てのことは縁で成り立っている 『縁起』 と言われます。縁がなければ何事もおこらないと・・・

親子の縁もそうです。私は生まれたときから親でしたか？ 子どもができたから親になったのでは？ だから、親子の年齢は同じなのです。子どもが1歳の時、親の私も親としては1歳です。

ただ、社会経験はあるが、親としての経験は 子どもと同じなのです。

親ということ、頭ごなしに叱ったことはありませんか？ 謙虚に 相手の存在、縁に感謝しながら 生きて行きたいものです。

子どもを授かったら、浄土真宗では、「初参式」といって 神道で行われる 「お宮参り」のように、お寺に赤ちゃんを 共にお参りさせていただきます。わが子に 私を親にしてくれて有難う。

阿弥陀様に お陰さまで新しい命を授かりました。これからは、互いに親として、子どもとして、尊敬しあい 慈しみあい 節目、節目には、阿弥陀様に おたずねし、お任せしながら感謝して生きて行きたいです。ありがとうございますとご報告します。

